

短歌 初歩き

宮崎チズ

(会員・佐伯市中村北町)

台風で倒れし大杉のあとに生ひしお塔の杉も五十年経ぬ
冷えびえと森に悲しき千代鶴のお塔に冬陽うららに射し
ぬ

自刃して果てし千代鶴のこしかけし平らなる石深く据わ
れり

初詣で梶くちなしの実の色づきて雑木の中に輝きており

山小道一列なして雑草を払ひ登れば府坂地蔵尊

思い出の千人塚は荒れ果てぬ春待つ小川鶴鶴遊ぶ

ピラカンサに小鳥集ひて枝撓たぐみ風の吹くごとその枝ゆる
る

平成二年一月十四日

表紙解説 大迫庵寺跡古塔群 宮崎県日南市

鉄肥城の西々南約三キロ、吉野方にこの廃寺跡がある。百基程もあろうかと思われる夥しい古塔群の中には、宮崎県指定有形文化財五輪塔四基・宝塔一基・板碑四基がある。年代は、鎌倉時代・永仁三年(一二九五)、文保元年(一二三一七)をはじめ、室町時代末期大永ごろまで、遺物が整然と修復されている。

石質は凝灰で、仕上げは特に入念であり、鎌倉時代の鋭いまでにも鮮明な薬研彫から時代と共に柔らか味のある文字・梵字など実にすばらしいものがある。

軸丸 勇